



平成18年11月13日

各位

日本出版貿易株式会社
代表取締役社長 綾森豊彦
(JASDAQ・コード8072)
問合せ先
執行役員事業管理部本部長 天内健一
電話 03-3292-3751

平成19年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年3月期中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の業績予想について、平成18年5月19日付当社「平成18年3月期決算短信(連結)」および「平成18年3月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成19年3月期 中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	4,144	13	25
今回修正(B)	4,340	△21	6
増減額(B-A)	196	△34	△19
増減率	4.7%	—	△76.0%
前期実績	3,928	△37	6

(2) 個別

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	3,920	10	24
今回修正(B)	4,246	△25	0
増減額(B-A)	326	△35	△24
増減率	8.3%	—	△100%
前期実績	3,850	△19	18

2. 修正理由

個別における当中間期の売上高は予想を上回る予定です。これは洋書業界の再編が当社への追い風になっていること、海外大学図書館等への営業戦略が効果的であったこと、さらに海外への音楽関連ソフトの売上が前期から引き続き好調であったことによります。

経常利益におきましては出荷業務をアウトソーシングしたことによる過渡期的な営業費増による影響と輸入音楽関連商品の利益率低下により予想を下回る予定です。中間純利益につきましては投資有価証券売却益を計上したものの経常利益のマイナスをカバーすることができず予想を下回る予定です。

連結につきましては大部分が個別の業績に連動いたしますが、前期にオーストラリアの子会社を清算したものの全体的には堅調に推移いたしました。

通期の予想につきましては、上期において予想を上回った洋書の国内販売と海外事業が好調に推移すると考えているため当初の予想を修正しておりません。

- ※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。予想に内在する不確定要因や、今後の事業運営における状況の変化等により、上記予想数値が実際の売上高、利益と異なる結果となる可能性がありますことをご了解いただけますようお願い致します。

以 上